すごろく 森のかわら版

2021 春

START はじまり

01 里山に続く道を探してみよう

里山には山に続く道がたくさん。登山道の入り口を探してみるのもよし。

02 手鋸（のこぎり）とヘルメット・軍手を用意する

山で活動する際に必要な道具を揃えておこう。

03 里山づくりの作業を体験する

木をノコギリで伐ったり、伐った木を玉切り（一定の寸法に丸太を伐ること）したり。里山づくりの活動で体を動かそう。

04 チェンソーの使い方を聞いてみよう

チェンソーの刃の数は５０個前後！知ってた？

05 ふかふかの土で寝転んでみる

ふかふかの土に寝転んでみよう。
空が広く見えない？

1回やすみ

06 植林に挑戦する

400本もの実のなる木を植樹。

『北岡本自治会』の活動へ
▶ 裏面につづく

07 里山の話を聞いてみる

平成30年の台風により、自治会の裏山が崩れたことがきっかけで活動が始まった。

『生郷里山づくり懇話会』の活動へ
▶裏面につづく

08 チェンソーをマスター、間伐材の活用術を学ぶ

定期的に、山の木を伐ること（間伐）はとても大事。
森林の管理が、安全な森づくりにつながっているんだよ。

『平松区森林愛好会』の活動へ
▶ 裏面につづく

09 軽トラックを買う

伐った木を運ぶのに大活躍。

10 里山について仲間と熱く話す

どうやったら人は山に興味を持ってもらえるか、どうしたら山が貴重な資源・財産として知ってもらえるか。日々仲間たちと、話し合ってみよう。

11 熱くなりすぎたので里山でひと休み

1回やすみ

12 山の生き物を観察する

山の中には、草地や川や池など様々な環境が。
兵庫県だけでも16000種以上の動植物がいるよ。
ルーペを持って、山の中をたくさん観察してみよう。

13 考えてみよう！伐った木はどこに行くの？

丹波篠山市と丹波市で伐った木は、木材市場や木の駅に。ストーブの燃料や家・家具の原材料として使われるよ。

14 ぴゅうっと山風が吹いた！ロケットストーブで暖まる。

一斗缶やペール缶などを利用すれば、ロケットストーブだって作れちゃう！

※ロケットストーブとは、
少ない燃料で高温燃焼が可能なストーブ

15 間伐した材を地域通貨券に変える

木の駅とは、住民自らが木を伐り「木の駅」に運び込むと「地域共通商品券」と交換できるシステム。

『木の駅実行員会』の活動へ
▶裏面につづく

16 考えてみよう！『じゅうがい』ってなに？

イノシシやクマ、シカなどの野生動物によって農作物が荒らされたりすることを言います。野生動物たちも一緒に里山で暮らせるよう山を整備していくことが大事。森を守る人たちに詳しく話を聞いてみよう。

17 じゅうがいが減る

2コマ進む

18 山でブランコをつくって遊ぶ

19 里山づくりのイベントに参加して、森づくりの仲間が増える

丹波市や篠山市では里山づくりのイベントがもりだくさん。探してみてね。
▶ QRコードへアクセス

20 植林した木たちが少し大きくなっていることに気がつく

木の種類によって伸びかたはそれぞれ。1年で10〜50㎝も大きくなるよ。ぐんぐん大きくなぁれ！

GOAL おめでとう

君の場所からもみえる森たちは、実は森を守る人たちの手によって守られている。身近にある森が、すごろくで遊ぶともっと身近に！
森のことを少し知って、森に遊びにでかけてみよう！

↑パンチで穴を開けて保存しておこう！

丹波の里山づくり促進事業実行委員会（兵庫県丹波県民局・丹波篠山市・丹波市・（公財）兵庫丹波の森協会）
事務局：0795-73-3618
詳しくはこちら▶

森のかわら版
2021 SPRING

丹波の山、森を守る人たち

森は、いろんな人たちの想いや力によって守られています。現在丹波篠山市と丹波市の森を守る団体の中から春号では、4団体を紹介します。

丹波の森づくりとは？

丹波の森 構想

丹波（丹波篠山市、丹波市）の一番の魅力は、どこにいても身近に里山があること。このことを活かして、自然と織りなす豊かなライフスタイルを創造していく。そんな取組を「丹波の森」づくりと呼んでいます。
この取組が平成30年に30周年を迎えたことから記念シンポジウムを開催。これからの方向性を提示し、ロゴマークを定めて、取組をさらに進めていくこととしました。

※「丹波の森」とは、森林や公園だけでなく、野や里や川なども含めて私たちが日常生活する空間全て＝丹波地域全域を指します。

丹波の森宣言

丹波の自然と文化は、現在及び将来にわたる住民共有の財産であって、これを維持発展させることは私たちに課せられた重大な責務です。今、私たちはこの責務を強く自覚し、お互いに力を合わせ、自然や文化を大切にしながら、これらを生かした「丹波の森」づくりを次のように進めることを宣言します。

1. 丹波の健全な発展をそこなうような自然破壊は行わず、森を大切に守り育てます。
2. 丹波の自然景観を大切にし、花と緑の美しい地域づくりを進めます。
3. 丹波の文化景観及び歴史的遺産を大切にし、個性豊かな地域文化を育てます。
4. 丹波の素朴さと人情を大切にし、安らぎと活力に満ちた地域づくりを進めます。

01 木の駅実行委員会（きのえきじっこういいんかい）

すごろく番号 15

木の駅とは、住民自らが木を切り「木の駅」に運び込むと「里山券」と交換できるシステム。丹波篠山市と丹波市に木の駅があり、市内の山で伐り出された間伐材を、実行委員会が買取ることで、チップや薪に変え自然エネルギーとして循環させます。里山券は地域で使用可。地域内にお金が回る仕組みです。





● 活動地 ： 丹波篠山木の駅実行委員会 丹波篠山市垣屋159-2
丹波市木の駅実行委員会 丹波市春日町野村137-2

02 生郷里山づくり懇話会（いくさとさとやま）

すごろく番号 07



平成３０年夏の豪雨災害による土砂崩れの経験から、観光や防災に役立ち、子どもたちに豊かな自然を残すために、土砂災害の防止や森林が持つ多面的な機能（保水・癒し・遊び場など）の整備・保全活動を進めていきます。

● 活動地 ： 〒669-3464 丹波市氷上町石生700-1

03 北岡本自治会

すごろく番号 06

平成26年の豪雨災害を受け、住民主体で山守を行えるよう、山に人が入る仕組みを考えて活動しています。ハイキングやアウトドア講習・チェーンソー講習・伐採木の搬出講習や植林活動など、将来を見据えた取り組みを行っています。



● 活動地 ： 〒669-4325 丹波市北岡本92番地

04 平松区森林愛好会

すごろく番号 08



住みよい地域づくりと、安心安全な森づくりのために、森林の管理→防災を含めた整備→森林資源活用の流れを作り、地域コミュニティや豊かな生態系が育まれていくような活動を目指しています。

● 活動地 ： 〒669-4133 丹波市春日町平松８２０

もっと詳しく

▶ 動画でみる
『丹波の山、森を守る人たち』
の活動はこちらから。

定期的な森での活動は、こちら。
丹波の里山づくり促進事業実行委員会
のフェイスブックをみてみよう。

発行元：丹波の里山づくり促進事業実行委員会
事務局：兵庫県丹波県民局丹波農林振興事務所森林課
製作：ササノワ合同会社
企画/編集：株式会社KUUMA
デザイン：赤山朝郎
絵：鈴村温